

「みんなで知ろう！ハンセン病」

～生きた証を知ってほしい～

みなさんは「ハンセン病」をご存じでしょうか？

「ハンセン病」は感染症ですが、日本では長い間、この病気にかかった方とその家族は偏見や差別を受けてきました。今回の企画展では「ハンセン病」を正しく理解していただくことを目的に実施します。SDGs（持続可能な開発目標）は「誰一人取り残さない」ことを基本理念にしています。ハンセン病問題の軌跡と社会差別の実態を知ることで、これからの地域社会が目指す共生・共助のまちづくりの原点を考える機会となることを希望しています。

子どもから幅広い世代のみなさまのご来場をお待ちしています。

開催場所 静岡福祉大学焼津駅前サテライトキャンパス
(焼津駅南口より徒歩3分 焼津市栄町3丁目1-15)

開催日程 令和4年3月21日(月・祝)～28日(月)10時～16時
(最終日 14時終了)※入場無料

展示内容

- パネル展示(ハンセン病とは、ハンセン病問題)
- 写真展「生きた証を知ってほしい」他
(国立駿河療養所、私立神山復生病院の入所者・回復者のみなさま)
- もっと知りたい「ハンセン病」参考本コーナー

問合せ先 静岡福祉大学地域交流センター(焼津市本中根549-1)
電話:054-623-7013 (平日9時～17時) / 080-2632-2663(開催時間中)

協力機関 動物介在活動 ぷらす(三島市)

写真提供:国立駿河療養所 入所者様

SDGs(持続可能な開発目標)

国際連合広報センターWebサイトより

